

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	メグシイ酒田教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日	～	令和8年2月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日	～	令和8年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月15日	～	令和8年2月12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な専門資格を持つ職員が関わることで、様々な方向からのアプローチが可能になります。	児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員で情報共有し、最善の支援について検討しています。	専門職員が各分野の知識を結集させ、より大きなチームでお子さま一人一人を支援できるよう対応しております。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っています。	家族の対応力の向上を図る観点から、メグシイ利用児の保護者向けに弊社職員が講師となり全4回のペアレントトレーニング講演会を実施いたしました。年2回開催している茶話会ではペアレントメンターとの意見交換を行う等継続した支援も行ってあります。また、山形県委託早期からの親子サポート事業の一環で講演会を開催しました。	今後も直接対話の機会を持ち、ご家族と一緒に学びを深めていけるような支援を努めてまいります。
3	顧問医師に助言を仰ぎながら、よりよい支援内容となるよう検討することができております。	月に一度、顧問医師による療育相談会を開催し、保護者様の相談内容について、顧問医師の助言のもと保護者様、関係機関、事業所の職員が共通認識のもと支援することができております。その際、記録も作成し関係機関各所へ配布し、今後の支援への情報共有にも努めております。	療育相談会の相談内容をまとめた本を出版しております。実際の相談内容や顧問医師の助言を、当事業所のご利用者様以外の方々にも広く知って頂き、読んでいただいた方のお子様、お知り合いに関する困り感などの、解決の糸口になれば幸いと考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス支援計画を作成し、支援を行っていますが活動が固定化されやすい状況にあります。	個別の関わりでは見えてこない社会性の発達に困難を抱えるお子さんも多いことから、小集団活動へのニーズもあり、今後の課題と考えます。	個別活動が中心ですが、同じ時間に利用しているお子様と挨拶や交替等の関わりができる環境となっています。個別活動の他、今後はお子様の課題に合わせた小集団活動も検討していきます。
2	事業所評価シート32項について 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保育所等訪問支援と並行して不登校支援で午前中からご利用されているお子さんについては、放課後等デイサービスご利用の保護者様と一緒に茶話会に参加していただきました。同じ悩みを持つ保護者同士の交流の場を提供する必要性を感じています。	茶話会を開催しました。父母の会、保護者会等は今後開催検討を行い、きょうだい間の交流の機会についても検討していきます。出席者お一人お一人が発言できるような配慮も忘れずに進めたいと思います。
3	事業所評価シート38項について 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	現在保育所等訪問支援を実施している児童については、不登校支援も行っているため、月1回の支援会議を定期的に開催しその際に、情報共有を行っています。毎週の訪問直後のカンファレンスについては訪問先の学校の都合もあり難しい現状です。必要時は実施後に電話やメールにて情報共有を行っています。	訪問支援の様子については関係機関に情報共有を行っています。利用児のライフステージの変化に合わせて今後の支援方針を決める為を実施していく予定です。訪問支援時の情報共有に限らず、ライフステージや今後の支援に関わる場合にカンファレンスを実施していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	メグシイ 酒田教室
------	-----------

公表日 2026/2/13

利用児童数

3

回収数

0

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていていると思いますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。							
非 常	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。						

時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
メグシイ酒田教室		令和8年2月13日				
		利用児童数		回収数		
		2		1		
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。		○		指導助言というよりも情報交換が中心であるため	現状は情報共有が中心となっている面もございます。今後は、共有させていただいた情報を踏まえ、必要に応じてより具体的で取り入れやすい提案や支援方法の整理を心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	○				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○				
5	事業所からの支援に満足していますか。	○				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		メグシイ 酒田教室		公表日 令和8年2月13日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		宿題や本などの教材は学校で準備いただき指導方法についても教示いただいている。訪問支援の際に取組状況を共有しています。	学習教材については学校で準備いただけています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置しています。また、基準以上の専門職を配置し、手厚い支援を心掛けています。	連日、新規利用の問い合わせが入る中、定員の調整及び職員の配置には細心の注意を払い、運営してまいります。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定、振り返りを各自行い、必要な際は情報共有を行い、常に業務改善に努めています。	社内研修だけではなく、外部研修などにも積極的に参加して業務改善を推し進めたい。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表やアンケートを活用しています。またお迎えや送迎時、お電話での直接のお声も含め、保護者様のご意見ご要望を取り入れています。	ホームページ等では公開していますが、結果と課題、改善案について広く周知するための手法を改めて検討してみたい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日始業前にミーティングを行っています。また全職員が気軽に意見交換できる風通しのよい職場づくりを行っています。	メグシイ全事業所職員で意見交換等の場を定例で開催し、管理者が直に職員の意見等を把握できるよう努めています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		顧問医師による評価を参考にし、業務改善に努めています。学校・教育委員会・病院・相談支援事業所などを交えた支援会議を開催し連携しています。	外部評価結果としっかりと業務に反映できるよう、その後の検証にも力を注いでまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修、勉強会の定期的な実施、また対象職員の外部研修への参加等、職員の資質向上を図っています。	新たに見えてきた課題、共有すべき事案についても随時研修の場を設けられるよう調整していきます。
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		お子さまごとにニーズや課題を分析・検討し保護者からの聞き取りも参考にし計画を作成しています。	定期的に保護者様との面談の機会を設けていますが、よりきめ細かくお話を伺えるよう努めてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員で情報共有し、最善の支援について検討しています。	専門職員が各分野の知識を結集させ、より大きなチームでお子さま一人一人を支援できるよう対応させていただきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		学校の先生とは密に連絡を取り合い、学校の意向を確認し、支援計画書を作成するときにその内容を反映させています。	確認をした際に、より具体的な目標や支援内容を検討し、その内容を計画書に盛り込むようにします。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画について職員間で共有、計画に沿って支援を行っています。	毎日のミーティングで計画についての確認や検討事項などを事業所ごとで行っております。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さまの適応行動状況を、観察し宿題の取り組みは指導員と1対1で取り組んでいます。生活状況も確認するため独自の生活記録も記入しています。	作成したツールを有効活用できているか、関わる職員全員で徹底してまいります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を、項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定しています。	具体的な支援内容となるよう心掛けていますが、保護者様へのご説明の際、難解な表記になっていないかなども気を配って進めてまいります。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画について職員間で共有、計画に沿って支援を行っています。	毎日のミーティングで計画についての確認や検討事項などを事業所ごとで行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを行い、日々確認を行っています。	情報共有に漏れがないよう、ミーティングの質の向上も図ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後も情報共有を行い、支援記録を記す等で気づいた点を共有しています。	必要な場合は教室内だけの展開ではなく、全事業所での情報共有をラインワークスを用い即時対応しております。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		自分たちの支援方針や手法を主張するだけでなく、訪問先の理念を尊重して支援案・方法を検討していました。	支援方法で検討すべきことがある際は、訪問支援時に確認し実際に支援するようにしていきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		日々の支援記録を記し、支援の検証・改善に繋げています。	正確に、個人の主観が入らないよう客観性を心掛けた記録作成に努めます。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		家族面談や訪問支援時の話し合いによって、意向を確認し必要な場合は支援計画を見直した。	より具体的に保護者や訪問先の意向を確認し、見直しを行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		役員、管理者、室長が出席しております。その後、記録も職員間で回覧し、共有を図っています。	共有のための記録について、細やかに情報を盛り込めるよう努めます。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関と連携し支援を行う体制を整えております。2名の医師と顧問契約を結び、日々様々な助言を受けながら支援を進めております。	トライアングルプロジェクトをさらに推し進められるよう、連携会議等において周知活動も進めていきたいと考えています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前に担当者会議を行い、利用していた事業所やその他施設、児童発達支援事業所との情報共有を行っております。	担当職員だけではなく、議事録等を通じ、全職員で共有できるよう今後も努めます。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		アンカーマネジメント研修や児童発達支援管理責任者研修など外部研修に参加し、職員一人ひとりの質の向上に努めていました。	特定の職員だけではなく、多くの職員が助言・研修を受けられる機会を設けていきたいと思っています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		今後開催情報を得ながら参加できるように努めます。	各関係機関と密な連携ができるよう努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お迎え時、送迎時に保護者様との情報共有を行っています。必要時に面談を行い、お子様の状況や課題を共有しております。	日々の活動内容だけではなく、細かな情報もお伝えできるよう接遇の強化を図ります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			山形県委託早期からの親子サポート事業の一環で講演会を開催、ご家族様へご案内しております。また、茶話会等でペアレントメンターとの意見交換を行う等支援を行っております。	感染症予防対策を徹底しながら、できるだけ直接対話の機会も増やせるよう努めます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用契約時の説明、ご利用のしおりやパンフレット、ホームページ等で情報公開しております。	難しい言葉は分かりやすくご説明できるよう、スキルアップに努めます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			利用契約時の説明、ご利用のしおりやパンフレット、ホームページ等で情報公開しております。	難しい言葉は分かりやすくご説明できるよう、スキルアップに努めます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			お子さま、保護者様の意思を尊重し、個別支援計画を作成し、意向確認を行っております。	「お子さまの最善の利益確保」という観点を忘れず、ご家族に寄り添いながら提供内容を作成いたします。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			個別支援計画について、支援内容説明を行い、同意を得ております。	説明が画一的にならないよう、専門用語ばかりで難しくなりすぎないように、保護者様に寄り添った視点でのご説明に努めます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			ご家族からの相談等に適切に応じ、面談、助言、必要時には療育相談等を行っております。	スピーディーに対応できるよう、職員間の連携を及び上司への報告体制を強化します。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		茶話会を開催しました。父母の会、保護者会等は今後開催検討を行い、きょうだい間の交流の機会についても検討していきます。	出席者お一人お一人が発言できるような配慮も忘れずに進みたいと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			ご相談があった際には迅速に対応しています。適切に対応できるように苦情申出窓口を設置し、職員間で内容の共有、相談も行ってまいります。	苦情があった場合は事業所だけではなく、会社全体で情報共有し迅速に対応できるよう対応してまいります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			月1回のメグシイ通信発行、教室だよりの発行、HP、一斉メールやLINE等を活用し、情報発信を行っております。	個人情報に配慮しつつ、発信のツールや頻度は増やしていきたいと考えています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			警備システムを整え、個人情報については退勤時、鍵付きキャビネットに保管、十分な注意をして保管しております。	マニュアルを遵守できるよう、個人情報取り扱いについての研修も定期的に開催します。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			本人の特性や最近の様子から、伝え方や話し方について配慮し寄り添う姿勢を継続できた。	ご利用中のやり取りを意識し、こちらの問いかけに対する反応を確認してかかわり方について検討する。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			担当職員からの相談に適切に応じ、必要に応じて利用児の様子や取り組んでいることをお伝えした。	より具体的に、訪問先の方針・要望を確認して支援に反映させていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○		訪問支援の様子を関係機関に情報共有を行っている。利用児のライフステージの変化に合わせて今後の支援方針を決める為に実施していく予定です。	訪問支援時の情報共有に限らず、ライフステージや今後の支援に関わる場合にカンファレンスを実施していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			訪問時の様子やその時の気持ちを職員間だけでなく、家族や関係機関にも共有し今後の支援の方向性を確認することができた。	本人の意向もこれまで以上に共有する事に努めます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			警備システムを整え、個人情報については退勤時、鍵付きキャビネットに保管、十分な注意をして保管しております。	マニュアルを遵守できるよう、個人情報取り扱いについての研修も定期的に開催します。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			訪問時に担当の職員から様子についての情報共有を行い、必要に応じて施設内で取り組んでいる内容をお伝えしております。	
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定、関係者に周知を行っております。	研修等の回数を増やすなど、全職員への徹底を図ってまいります。	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づき、研修や訓練を行い、安全管理を考慮し支援を行っております。	実践的な訓練となっているか、検証にも注力してまいります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットを随時記録、職員間で共有し、同様のケースの再発防止に向けて検討しております。	再発防止研修も実施するよう努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会の設置、研修を行い、適切な対応を行っております。	外部研修等にも積極的に参加し、理解を深めます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束について委員会内で検討し、必要性が考えられるご利用所様については十分に説明を行い、個別支援計画に記載する等の対応を行っております。	事前、事後の説明をしっかりと行い、保護者様にご納得いただける形で今後も進めてまいります。